

マスクレス露光チーム

<氏名> 三宅 賢治

<役職> チームリーダー

<所属> 株式会社ピーエムティ

<開発内容>

1セット 1000万円から数億円するマスク / レチクルが不要で、しかも水銀ランプより 10 倍も寿命が長い LED を光源として、PC プロジェクターに使用されている DLP™ で直描を行うマスクレス露光装置を開発し、描画性能の向上、)組立性及びメンテナンス性の改善、信頼性の向上、コストダウンなどを進めています。

<自己紹介>

外資系の半導体製造メーカーでリソグラフィーのプロセスエンジニアを 10 年間、半導体工場の IT システム開発を 20 年間行いました。

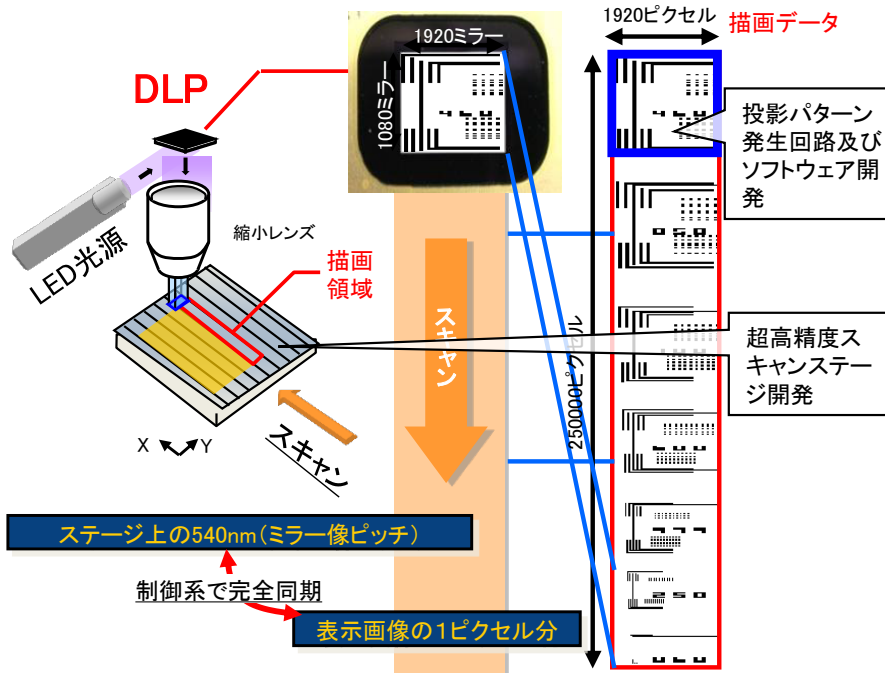
ISSM,AEC/APC などの半導体プロセス関連の国際学会のプログラム委員も歴任しています。

2012 年に山口大学大学院技術経営研究科で MOT 修士を取得し、現在は山口大学 博士課程後期で技術経営を研究しています。

■ サーマルチャンバ、巨大レンズ群および大型ステージ不要
→ 装置構成品の減少、消費電力削減

プロジェクション描画

→ マスクレスで費用3億円不要、
設計期間2ヶ月短縮。



DLP: Digital Light Processing

多数マイクロミラーを平面上に配列した素子。ミラーが光を反射させて対象物に投影する映像表示技術。

